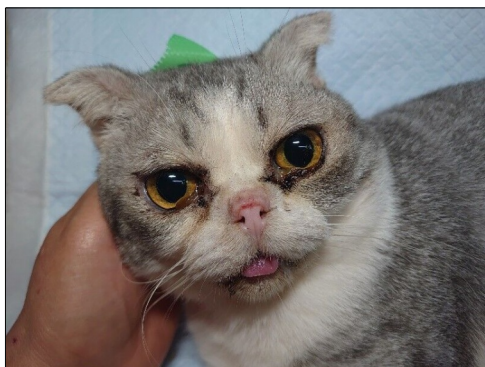


みなしご通信



鬼畜の極み 繁殖屋をぶつ潰せ



血統が読めて、ちゃんとした繁殖ができる人を「ブリーダー」と呼びます。はて：今の日本に血統が読める人が何人いるでしょうか？たいがいそこらにいるのはブリーダーでもなんでもなくオスとメスを繁殖をさせてるだけの繁殖屋・増殖屋です。血統も読めないヤツがブリーダーと称して仔犬や子猫を産ませて売る、これ完全に間違ってますよ！

血統も読めないヤツから仔犬や子猫を買わないでください！そもそも命は売るものでもないし買うものでもありませんから！ブリティッシュなんだかスコティッシュなんだか可哀想に：それらの欠点のみごとく遺伝して慢性的に鼻気管が詰まり目ヤニは治まらず後ろ足は関節でもないところにグリグリの骨変形が見られます。わかりませんか？触るとわかるんですがどこもかしこも全て骨が変形しています。この子はいよいよ最近まで繁殖屋で産まされてきました。という事はこの子と同じ骨に異常が生じる遺伝子を持つた猫が金儲けのためにたくさん排出され、この広い空の下どこかの町のお金を払って購入された先で骨の痛みを感じながら暮らして

最近の繁殖屋は早く売れるネット販売を主としていて直販型が主流となつていきます。ペットショップなら目利きのスタッフがいるかも知れませんが相手が素人なら簡単に騙せますからね素人に直販して儲ける：悪質でタチが悪すぎます！耳の中なんか真っ黒でマラセチア（カビ）と耳ダニが共同生活。どんな環境にいたかおおよその見当はつくでしょう！



ピンクのバラの花が写っているようなかわいらしく清潔そうな背景の繁殖屋のホームページ。そこにこれまたええことを書き連ねていきますが繁殖屋は繁殖屋。すべては嘘っぱち！本当に丁寧な愛情を持って育てている人は、知らない人に自分の子が産んだ子どもを売ったりなんかしませんよ！

しつこいようですが、不遇な繁殖犬猫を減らすためにも仔犬や子猫は買わないでください！ペットショップでかわいい仔犬や子猫を見たら《その子の背景》を思い出してください！骨が変形し痛みを耐えながら子どもを産まされている母猫の存在を思い出してください！狭いケージの中で糞尿にまみれ皮膚病になつてもまだ産まされ続ける母犬のことを思い出してください！

生まれた子が売れなかつたらどうなるか：そこは大丈夫です！心配ご無用、売れなかつた子はそれ専門のボランティアが存在し必ず助け出して譲渡していますから！とにかくこんなヤツらに儲けさせない！ビター文払わない！儲からなければ繁殖しなくなりますから！明日からこのことを知り合

い5人に言うて広めてください！そしたら5倍速で繁殖屋がつぶれますから！

TNRイノベ

TNRの安価な手術費ってのはもはや当然の前提として「去勢避妊手術をするだけじゃ猫へのメリットが少ない」という猫好きボランティアからの要望をクリアするために【TNR一斉イノベーション】《完璧な手術》と《可能な限りの医療の提供》を実施していきます。手術と同時に★3種混合生ワクチンを接種★ノミマダニを3ヶ月駆除するブラベクト滴下★抜歯はもちろん腫瘍の摘出や断尾・断脚：など一度の捕獲&麻酔で、できるだけの医療をセットにしてより多くの猫を一度にTNRすることを可能にしました。

私たちのこの【TNRイノベ】は各地のボランティアさんに大人気ですが私も桂代ちゃんも他の仕事も忙しく、全国のボランティアの方々からの新規の要望に



今朝のアフラックたち。ずっと一緒にいたメス鳥が亡くなって意気消沈したオス鳥はすっかり元気を失くし断食を続け、後追いする勢いでしたが新しくメス鳥を2羽連れて来たら復活！元気になりましたね(笑)その後2年ほど3羽で仲良く暮らしていましたが4月にオス鳥が老衰のため亡くな

メス鳥は元気

は応えきれいていません。最初はどこかの町が落ち着けば違う町に行けばいい…なんて簡単に考えていましたが、結局どこもここもなかなか終わらず7、8年続けています。

吐出ならOK

奥の柵のあたりは《草を食べべて吐きたい》猫のためにわざと草むしりをせず、柵の端から端まで青草《雑草が飛び出る感じ》にしています。猫たちはこの青草《雑草をよく食べて吐き出して》います。猫は《吐出する動物》です。草に限らずフード類や毛玉を吐くのは《吐出》なんの問題もありません。他方、白い泡や黄色い胃液状のものを吐いたら、それは嘔吐《おうと》です。で早めに病院へ連れて行ってください！

見守る観音様

栃木拠点の納骨堂は猫舎入り口の真正面にあります。そして納骨堂の前には高野山の石建さんが精魂込めて彫ってくださった千手観音さまがおられます。そのお姿はドアを閉めた状態でも見えます。でもこれは偶然起きたことなんです。



当初の計画では私たちは別の場所に納骨堂を建てたかったのですが、雑木林の木が枝が邪魔して《思うところまで》ラフターのアーチが届かないことがわかり「木の枝を切るか」と言われたけどそれはしたくなかったのでもしよ今この場所に納骨堂を建立したのです。昨年9月の話。あとは守り本尊さんを待つのみで、こういうのはご縁ですから石屋さんや石工さんにお任せ

するほうがええかな…と思っていたので私は守り本尊さんが誰なのか、いつ彫りあがるのかまったくわかりませんでした。

日本トップクラスの石工さんが200日ぐらいかけてコツコツで彫ってくれた遠く和歌山県は高野山からお見えになり、健空阿闍梨に開眼供養をしていたのだいたのは、奇しくも東日本大震災から丸10年の3月11日。まさかこんな大それたことになるとはほんの数日前までは想像もしていませんでした。そしてひと息ついて納骨堂を見てみたらそこは猫舎入り口の真正面だった…という奇跡のような話です。それから半年が過ぎ千手観音さまと目が合うたびに「手を抜くなよ」と言われているような気がして、この半年間はまあまあ真面目に活動できたかなと思っております。

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人(特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
(http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html)に掲載しております。

スマホをかざすだけで募金ができる

かざして募金

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングIVINGで寄付ができます。
(https://japangiving.jp/supports/1281) 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。